

1. 会場 : 屏風ヶ浦ケアプラザ
2. 開催日時 : 2025年(令和6年度)5月10日(土) 13:30~16:10 リハーサル: 9:30-12:00
3. スタッフ(以下全て敬称略) 主任: 廣井徹磨 サブ主任: 磯貝 清
会場係: 和泉静恵
アシスタント ①阿部和代(2p)、②阿部真知子(2p)、③八木三津子(2p)、④笠井智子(2p)、3年8人
班順 ⑤岡崎正光(4)、⑥山田順子(3)、⑦澤田雅之(4)、⑧杉山逸子(4) 4年~15人
4. 参加者: 23名 { 3年(8)、4年(6)、5年(5)、6年(2)、中1(2) 参観(5) 家长(1) }
5. 内容 開始時間5分遅れ

内容	流れ説明1. 実験 2. 工作 3. 実験 4. 工作・飛行体験 5. 解説	キーワード
1. 実験 紙は飛行機になるか	演示 B5の厚紙を①縦にはなす②横にして離す③横に押し出す。厚紙の動きから、空気の揚力に気付かせる④おもりをつけて押し出せば、滑空することを見せる・・・飛行機になりそうだ	重力 揚力・浮力・浮揚力 滑空
2. 工作 宙返り飛行機を作って飛ばす	工作 本体と主翼は分離済、折り曲げて、重ねて切りだす。洗濯ばさみ有効性。おもり接着。出来上がりのチェックの仕方を見せる。会場奥で飛行練習。 解説スライド・・・エレベータの傾き、主翼の反りと迎え角の効果 宙返りもできるよ。	重心と揚力中心 揚力中心が上 重力中心が下で安定 やわらかく下向きに離す。迎え角
3. 実験 滑空飛行機3セットで翼の役割	演示 子供を前方に集めて、滑空飛行機3モデルと扇風機で翼の役割を解説。席に戻ってクイズ3つ・・・回答タイム 紙ジェット機型紙配布・角2つを切りはなす	エレベーター、 エルロン、 ラダー
ここまで1h	休憩中	
4. 工作 紙ジェット機を作る 飛行 3:50-4:05	工作 1. 折り線をなぞる(竹箸) 2. 中心線を二つ折りして切り出す(洗濯ばさみ利用) 3. 広げて黒色部分切り落とし 山折り、谷折り 4. 接着①主翼と機体 ②補強用穴をあける 一部切り落とし ③エンジンノズル ④機首の上部 ⑤機首の下部 ⑥空気取り入れ口 ⑦垂直尾翼 5. 補強 ①主翼と水平尾翼 ②おもり兼座屈防止 ③飾り台 ④フックの接着 ・動画とカタパルトでの注意 試験飛行 会場の奥で	なぞる・切り出す 折る・接着する 補強: 座屈防止 主翼 尾翼の補強 フックとカタパルト 飾り台
解説 おみやげ	空気の力恐るべし・あと引き渦: ジャンボ機の後方10km 危険 ミニジェット機のモビール作り方用紙説明. 竹ひご・紙フック配布	針金ハンガーモビールを展示

6. 反省会まとめメモから主任が抜粋

- 3年では保護者が適切に対応していた ○このテーマは4年以上4人にアシスタント1名は厳しい
- 工作時間が伸びて飛ばす時間が短くなった ○実験を入れることで子供が自分で調整することが出来た
(主任) ①宙返り飛行機では、アシスタントの方に事前に分離していただき時間短縮ができた
②紙ジェット機では、3年生用に線の明確な型紙A4を用意した

7. 主任感想とまとめ

- ・扇風機の実験が分かりやすかったようです。参観者の肯定意見も多いです。
- ・3年生には説明も工作も難しいようで、保護者の協力が必要です。

8. アンケート集計別途添付 児童23名 3年保護者8名 参観者5名

9. 会場風景

写真



会場の様子



翼の役割実験

以上